



東林地区 (令和6年8月1日現在)

人口 42,023人

世帯数 22,103世帯

【発行】東林地区社会福祉協議会  
相模原市南区相南1丁目10番10号

☎ (042) 705-3315



ホームページは  
こちらから

# 第17回 ヤング防災ボランティア体験教室

—地域の防災力強化の輪を広げる—

指導：相模原市赤十字奉仕団・南消防署  
運営協力：東林地区自治会・ボランティア団体

8月23日、公民館でヤング防災ボランティア体験教室が開催されました。上鶴間・東林・新町中学から38人の参加がありました。体験学習のメニューはロープワーク、ブルーシートを使ったテント設営、水消火器による消火・けむり体験、心臓マッサージ、応急手当などです。

主な体験学習の様子を紹介します。

## — けむり体験 —

煙が充満したテントの中を潜り抜ける体験。煙を吸わないように鼻・口にタオルを当て姿勢を低くする。全員、無事に潜り抜け！



## — 心臓マッサージ —

人形を相手に「強く・速く・絶え間なく」を心掛けて30回、マッサージを行う。女生徒の頑張りは立派！



## — ロープワーク —

「自在結び」「巻き結び」の2つの結び方を体験。悪戦苦闘でしたが、全員習得！



## — ブルーシートテント設営 —

ロープワークで学んだロープの結び方を実践し、テントを作ります。制限時間は30分、リーダーシップと



チームワークが鍵です。時間内完成は6チーム中、2チーム。他の4チームも90%完成。テキパキとした「仕事ぶり」は見事！

参加者の熱意と指導陣の丁寧な指導で今回のヤンボラも無事に終了しました。参加者の感想として「災害・防災に対する意識が高まった」、「災害時に取るべき行動が理解できた」、「災害時に学んだことを実践したい」などがあり、地域の防災を担うヤングの頼もしさを実感した一日でした。(非常食のカレーが大変、好評でした。)

東林地区 社会福祉協議会(社協)は  
**設立50周年**

「福祉コミュニティ形成事業」のルーツは東林地区！

福祉コミュニティ形成事業は、地域のさまざまな「困りごと」について住民が、自由な発想で解決策を考えるもので、相模原市の地域福祉の象徴的な活動です。実は最初の取組は平成19年の「東林いきいの広場」と「東林いきいき塾」です。その後、全地区への広がりを見せ、すべての地区で取組が始まったのは平成26年のこととなります。各地区の活動は相模原市社協ホームページをご覧ください。



## 大人が幸せじゃないと、 子どもは幸せになれない

川崎市子ども夢パーク訪問 (理事研修)

7月19日、地区社協として川崎市子ども夢パークへ視察研修に行きました。夢パークが推進する子どもの権利条例の取り組みを学び、私たちの地域福祉活動に活かすためのものでした。ここは川崎市子どもの権利に関する条例をもとに、子どもたちが自由に遊び、学び、成長できる場です。水遊びや火を使えるプレイパーク、屋根付き広場、フリースペース“えん”があり、子どもたちの自主性と創造力を育む環境が整っています。

認定NPO法人たまりばの西野理事長から夢パーク設立の背景や



子どもたちが置かれている現状や課題などのお話を伺い、その後園内を見学しました。印象的だったのは、条例の策定過程で子ども委員会から発せられた「**まず、おとなが幸せでいてください。おとなが幸せじゃないのに子どもだけ幸せにはなれません。おとなが幸せでないと、子どもに虐待とか体罰とかがおきます。**」というメッセージで



した。この言葉は、私たちの活動において大人の幸福も同様に重視する必要性を改めて感じさせてくれました。今回得た知見を今後の活動に活かし、地域の子どもたちがより良い環境で成長できるよう努力していきたいと思います。

この言葉は、私たちの活動において大人の幸福も同様に重視する必要性

## 東林いきいき塾

「東林いきいき塾」では、3月12日に東林間駅近隣、14日は小田急相模原駅近隣で、それぞれ3～4ヶ所の福祉施設の訪問見学を企画し、両日とも10人ほどの参加者でした。身近な生活圏内にあっても足を運ぶことがないので、施設の中に入り、詳しく見学し質問をして様子が分かったり、昼食の試食ができるなど、貴重な学びとなりました。

見学先は、特別養護老人ホーム・デイサービス、子ども・若者支援、就労移行・就労継続支援、児童発達支援・放課後デイサービスなど多岐にわたる施設です。様々な介護・支援サービスの福祉現場の最前線で日



ラフレックス (就労支援・就労継続支援)

夜休みなく活躍されている施設長やスタッフの皆さんから、熱意溢れる取り組みや現状の

ご苦労話などを分かりやすくお話いただき、この交流を通じて日頃のご苦心や課題などがよく理解できました。

見学を終えて、身近に差し迫る社会福祉の問題は、決して施設内だけに留まらず、地域



東林間輝 (グループホーム)

社会全体で真剣に取り組む必要がある切実なテーマだと、痛感しました。

第10回

# 子育てサロン母べえ講演会

お父さんの子育て経験から  
～子どもとの関わりが今につながる～

子育てサロン母べえ講演会は、10回を迎え、今回はお父さんの子育てをテーマに3月16日（土）に東林公民館にて東林地区社会福祉協議会 阿部匡秀会長から父親の子育てへの関わりや教育方針などを身近なテーマでユーモラスに語って頂きました。

参加した方々との意見交換もあり、大変有意義なものとなりました。



## 「子育てサロン母べえ」とは

母べえは、子育てサロンたんぽぽを卒業した小中学校生のお母さんが集うサロンです。毎月第3土曜13:00～15:00参加費無料で主任児童委員・民生委員・ボランティアにて活動しています。ひとりでもお子様連れでも参加できます。お気軽におしゃべりや情報交換しませんか。

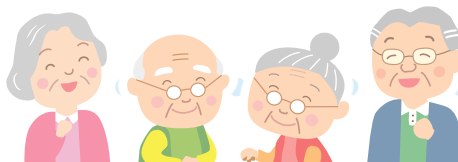


母べえ代表 古木早苗

## さわやかサロン開催

65歳以上の独居の方をお誘いして、年に2回開催しています。昨年はプロのバイオリニストとオカリナのグループに演奏をご披露頂き、今年は東林公民館ホールにて江戸人形浄瑠璃を上演して頂きました。

さわやかサロン代表 小宮英子



### 北山 稔さん追悼絵手紙

# ありがとうございました。

北山稔さんは、「東林ふくし」に長年にわたり絵手紙を提供して下さり、大勢の人に親しまれた数多くの作品は皆さんの心に残ることでしょう。

北山さんとの出会いは、「東林ふくし」に、絵手紙の掲載をお願いに伺ったことから始まり、お互い近所とあってお付き合いをさせていただきました。北山さんは車いす生活になり、絵手紙を趣味で始められたと聞いています。

全国大会で入選したこともあり、とても努力家で、庭を眺めては絵手紙の題材を決めたり、切り花を見ては目の前に置き繊細に描かれていたようです。

自然に触れることが大好きで、家庭菜園も奥様と一緒に手をかけ、四季の野菜収穫を楽しんでいました。そのような中、必ず絵手紙に添える文は心のやさしさが感じられる言葉ばかりで、私にとっても数多くの思い出であり、感謝の気持ちでいっぱいです。

令和4年度編集委員 森井福枝



## 事務局から新任のごあいさつ

令和6年4月より東林地区を担当することになりました。歌丸浩一です。

実は2度目の担当となります。20年以上前の事ですが、若かりし頃お世話になった地区で少しでも恩返しできるようお願いさせていただきます。



令和6年4月から大野南地区から移動してきた推進員の小池美和です。

東林地区に早く慣れて皆様のお役に立てるように頑張ります。

宜しくお願いします。



### < 編集後記 >

- 地域にねざした福祉活動が広がっている実感あり。 (敬)
- 皆様の幸せな生活や健康に本誌がお役に立つことを願っております。 (元)
- 中学生には身近で頼りになる存在として成長してほしいと思っています。 (匡)
- 迫り来る自然災害への備えは『地域に関心を持つ』ことが重要だと痛感します。 (賢)
- ヤンボラに大人グループとして参加。中学生の若い力に期待します。 (修)